日本ハツラッツ学会第１回大会 開催要項

１．開催方法：オンライン・ハイブリット方式（Zoom）

２．日時：令和７年８月２５日(月)９：３０～１３：００

３．会場：仁淀川町観光センター「秋葉の宿」大ホール（高知県吾川郡仁淀川町高瀬3869）

４．大会テーマ：「ともに老いを科学する」ハツラッツを考える

～フレイル予防を基軸とした健康長寿・幸福長寿のまちづくり～

５．プログラム

9：30～ 9：35 **開会挨拶**　山中　喜郎（大会実行委員長・学会理事長
NPO法人フレイルサポート仁淀川）

9：35～ 9：55 **話題提供**　呂　偉達（Lyu Weida）
（東京大学高齢社会総合研究機構 特任研究員）

話題： ハツラッツを科学するKONIC　STUDYをみんなで共有しよう！

10：00～11：30 **報告会**　（座 長：小松　仁視（NPO法人フレイルサポート仁淀川））

①住民主体で行うハツラッツと総合事業C型サービスとの違い
有光　一樹（（一社）高知県作業療法士会）

②住民主体で行うハツラッツを持続可能な仕組みにするための新たな一手
平石　典子（大豊町（保健師））

③ハツラッツの実践は、フレイルサポーターの行動変容に影響するのか！
金久　雅史（四万十市フレイルトレーナー）

④医療現場（回復期リハビリテーション病院）から住民主体の通いの場への退院支援
～専門職の気づきと今後の展望～
杉本　徹（（医）恕泉会　リハビリテーション病院すこやかな杜）

⑤みんなで挑戦するから新しいエビデンスが生まれる～足関節背屈運動の提案～
有光　一樹（（一社）高知県作業療法士会）

12:00～12：55　シュンポシオン（symposion「饗宴」）

「みんなでこれからのフレイルサポーター活動·ハツラッツ·まちづくりの展望を語ろう」

13:00　閉会